

令和7年 11月 1日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学附属足立医療センター

病院長 塩沢 俊一

(公印省略)

形成外科 講師 候補者の公募について

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、東京女子医科大学附属足立医療センターでは形成外科の講師を公募することになりました。

つきましては、貴学・貴施設ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。また本学では、女性医師の活動の場の拡充を目指しており、教育職においても女性医師に広く門戸を開いていることも申し添えます。

謹 白

記

1. 公募の概要および選考方針

「社会に貢献する女性医人を育成する」という本学の建学の精神に則り、形成外科学に造詣が深く、豊富な手術経験を有し、女性医師の育成を中心とした医局のマネジメントに能力を発揮でき、同分野に特化した教育、研究、診療を推進できる方を公募いたします。

なお、本学では、男女共同参画を推進しています。上記の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。

つきましては、次の資格要件を満たす方を公募いたします。

- (1) 医師免許を有する方
- (2) 博士（医学）の学位を有する方
- (3) 2年以上の教育歴、4年以上の研究歴、4年以上の診療歴を有する方
- (4) 日本形成外科学会の形成外科専門医および形成外科領域指導医の資格を有する方で、形成外科領域全般に対する造詣が深く、卓越した能力を有する方
- (5) 研究業績として、査読付自著論文（*）5編以上（但し、以下のAを1編以上またはBを1編以上含むこと）または自著論文のインパクトファクターの合計が5以上の要件を満たすこと

A：英文研究論文（自著原著）とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター1.0以上を一応の目安とする。

B：英文研究論文（自著原著）で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるも

の。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙 (Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子 (DOI) の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

C: 和文で書かれた国内学会誌もしくはそれに準ずるもの。一般誌であっても査読制度が確立し自由なアクセスが可能であれば可とする。論文としての形態が整っていれば、総説や解説、研究成果の短報(英文を含む)・速報(英文を含む)、症例報告もこれに含める。ただし編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(*) 自著論文とは、本人が first author または equal contributor になっている論文、または corresponding author として明記されている論文を指す。

(6) 臨床においてチーム医療と医療安全を積極的に実践できる方。特に、医療安全に関して、以下のAまたはBを満たす方（学外からの応募の場合、応募時点で基準を満たさないときには、就任後、2年以内に満たせば良いことといたします）。

A：学内各医療施設の医療安全推進部門において、半日若しくは1日単位で計24日間以上実務者として勤務していること

B：学内各医療施設のセーフティマネジャー1年以上務める。

(7) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、診療部長、医局長と協働して形成外科医局運営を適切に行うとともに、常に経営改善の努力ができる方

(8) 本学のその他の医療施設である東京女子医科大学病院および附属八千代医療センターの形成外科との連携を積極的に推進できる方

(9) 本学の理念である「至誠と愛」を十分に理解するとともに、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境を構築できる方

2. 提出書類等

詳細は本紙5～6ページをご参照ください。

各様式については、本学ホームページ（HOME > 新着採用情報）からダウンロードしてください。

<http://www.twmu.ac.jp/univ/>

- | | |
|--------------------------|-----|
| (1) 履歴書 | 1部 |
| (2) 【様式1】自己評価書 (1) | 1部 |
| (3) 【様式1-2～1-6】教職実績の自己点検 | 1部 |
| (4) 【様式2】自己評価書 (2) | 1部 |
| (5) 【様式2-1・2-2】業績目録 | 1部 |
| (6) 代表論文の別刷またはコピー 3編 | 各1部 |
| (7) 診療実績 | 1部 |
| (8) 【様式3】自己評価書 (3) | 1部 |
| (9) 推薦書（厳封）※学内・学外からの推薦書 | 各1通 |

- (10) 【様式4-3】医療従事者（医師以外）の意見 1部
- (11) 【様式5】医療安全管理に係る実務経験 1部
- (12) 【様式6】セーフティマネジャー研修報告書 1部
(※本学のセーフティマネジャー研修を受けたものは必ず提出)
- (13) 卒業証明書 1部
(※大学院修了者は大学院修了証明書も提出)
- (14) 学位取得証明書または学位記（写） 1部
- (15) 医師免許証（写） 1部
- (16) 上記（１）～（１２）の電子ファイルを保存した媒体（USBまたはCD） 1式
※上記（６）はPDF ファイルで保存してください。（９）PDF 保存不要です。

3. 提出方法

- (1) 上記の提出書類を一括して送付してください。
- (2) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー（ホッチキス）等は使用しないでください。
- (3) 封書等の表に「親展」「形成外科 講師 応募書類」と朱書きしてください。
- (4) 提出に際しては、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。直接持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

4. 提出期限： 令和7年 12月 1日（月）必着

5. 提出先： 〒123-8558 東京都足立区江北4-33-1

東京女子医科大学附属足立医療センター
病院長 塩沢 俊一 宛

6. 選考方法

- (1) 1次選考：書類審査
- (2) 2次選考：面接審査
- (3) 3次選考：本学人事要件評価委員会審査
- (4) 最終選考：本学教授会審査

7. 問い合わせ先

東京女子医科大学附属足立医療センター 病院企画運営課
電話 03-3857-0112（内線）24100

8. 備考

- (1) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報が漏洩しないよう厳重に管理の上、最終選考が終了しましたら速やかに当方にて責任を持って処分いたします。なお、選考過程において選考に関わる者として、東医療センター部長会構成員および教授会構成員等が含まれることをご了承願います。
- (2) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、追加資料の提出を求めることや、状況確認等で所属施設に伺う場合があります。
- (3) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人のみに通知するものとし、推薦者の方には通知いたしません。
- (4) 本学では、令和元年度から任期制を導入しており、採用初年度は原則として1年間の有期雇用となり、勤務実績等を考慮した上で更新されます。予めご承知おきください。

以上

提出書類の記載要領等について

(1) 履歴書（写真貼付）

別紙に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会貢献活動、賞罰に分けて記載してください（相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください）。

※見本を参照してください。

(2) 自己評価書 (1)

別紙（様式 1）に従い、学部、大学院、教育関連活動のこれまでの実績およびこれからの抱負・自己目標を記載してください。

(3) 教職実績の自己点検

別紙（様式 1-2～1-6）の現職のシート（教育職ではない場合は講師のシート）に記載してください。記載にあたっては様式 1-8 シート内の教職実績を参考にしてください。

(4) 自己評価書 (2)

別紙（様式 2）に従い、これまでの実績、これからの抱負・自己目標を記載してください。

(5) 業績目録（様式 2）

別紙（様式 2-1、様式 2-2）に従い、Excel ファイル内のシートに記載してください。
なお、資格要件の (5) の ABC ランクを各論文表記の最後に付してください。

(6) 代表論文の別刷またはコピー 3 編

主要な自著論文 3 編をあげ、その 3 編の論文の別刷を各 1 部ずつ添付するとともに、これらの PDF ファイルを (10) の媒体に保存してください。

(7) 診療実績

別紙に従い、Excel ファイル内の 2 つのシートに、医療機関に保管登録された診療録に基づき、外来診療、入院診療および手術（全身麻酔下によるもの）の状況について記載してください。

(8) 自己評価書 (3)

別紙（様式 3）に従い、これまでの実績、これからの抱負・自己目標を記載してください。

(9) 推薦書（学外・学内より各1名）※書式自由

最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究、診療に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただくようお願いいたします（原則として1枚）。推薦者は国内外を問いませんが、提出期限に注意して依頼してください。推薦書は、推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒に送ってください。

宛名は 東京女子医科大学 学長 三谷 昌平 としてください。
なお、本学での推薦状の依頼が困難な場合はその旨お申し出ください。

(10) 医療従事者（医師以外）の意見

別紙（様式4-3＜外部用＞）を応募者の勤務する看護師やメディカルスタッフに依頼していただき、応募者の人物について客観的な評価を記載していただくようお願いいたします。

(11) 医療安全管理に係る実務経験

以下のAまたはBの要件の経験を要していない場合はその旨をお申し出ください。

本学就任後2年以内にAまたはBのどちらかを満たしていただきます。

なお、前任地等においてAまたはBと同等の経験をしている場合は、書面にて実務内容を記載していただき、前任地の医療安全責任者の証明書を提出してください。

同等の経験かを判断するにあたり、当院医療安全推進部門長の意見を求めさせていただきます。

＜要件＞

A：学内各医療施設の医療安全推進部門において半日もしくは1日単位で計24日分以上実務者として勤務する。

B：学内各医療施設のセーフティマネジャーを1年以上務める。

(12) セーフティマネジャー研修報告書

本学勤務者が応募される場合は別紙（様式6）を各施設医療安全推進部門長の証明を受けたうえでご提出ください。

-以上-